



沖水中学校だより

令和4年
1月7日(金)
【第9号】

～笑顔があふれ明日が楽しみに待たれる安心・安全な学校～

新年明けましておめでとうございます。今年も昨年同様、本校の教育活動へのご理解ご支援をよろしく願いいたします。

さて、3学期がスタートしました。3年生にとっては、いよいよ受験、そして、義務教育9年間の締めくくりの卒業式が3月16日に実施されます。また、1・2年生にとっては、1年間のまとめと進級する次の学年への準備の学期ともいえます。

【3学期の主な行事予定】

- | | |
|---|------------------------|
| 1月 7日(金) 第3学期始業式 | |
| 1月12日(水) 13日(木) 1・2年都北地区学力診断テスト、3年実力テスト | |
| 1月26日(水) 27日(木) 私立高校入試 | |
| 2月 1日(火) 新入生説明会 | 2月 2日(水) 県立高校推薦入学者選抜検査 |
| 2月 8日(火) 9日(水) 学年末テスト | 2月18日(金) 1・2年参観日、2年立志式 |
| 3月 8日(火) 9日(水) 県立高校一般入学者選抜検査 | |
| 3月16日(水) 第75回卒業式 | 3月25日(金) 令和3年度修了式 |

令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール 3年の甲斐深留珠さんが見事「警視庁犯罪被害者支援室長賞」を受賞！

令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールで3年甲斐深留珠さんが、見事に「警視庁犯罪被害者支援室長賞」を受賞しました。甲斐さんの作文は、本校で実施しました「命の大切さを学ぶ教室」で、息子さんを交通事故で亡くされた方の講演を聴いての感想文です。本県から唯一中学校から入選した作文です。おめでとうございます。その作文を紹介します。

「命について私が考えること」 3年 甲斐 深留珠

私は命には「今」という期限があると考えます。なぜなら、命は数秒後、数分後、明日、明後日に必ずあるとはいえないからです。2002年12月10日の部活帰りに対向車にはねられ、翌日に息を引き取った当時中学生の「笹森郁也君」は「甲子園に出場する」という夢を一瞬にしてうばわれてしまいました。命は誰のものでもない自分のものです。「郁也君」の命も自分の夢に向かって生きていた命だったのです。夢に向かっていた本人も、応援していた周りの人たちも、まさか、その時終わってしまうとは思っていなかったはず。「郁也君」の事故の原因は対向車の不注意のせいでした。講話に来てくださった「郁也君」の父親の義幸さんも、「悔しい、許せない」とおっしゃっていました。対向車が注意して運転していれば失うはずのなかった命だったのです。これからも自分の夢に向かって生きていく命だったのです。しかし、人の不注意で強制的に命が終わってしまった。自分で期限を決められなかったらとても悔しいし、辛いはず。期限ある命だから、一分、一秒を大切に生きなければなりません。どんな行動をすることが、大切に生きることになるのか考えてみました。

まずは、自分のやるべき事をやることです。今の私のやるべきことは中学校生活を充実させることです。自分の夢に向けて目標を立てて勉強することや部活で仲間と協力して活動していくことをこれからも続けていきたいです。また、病気にならないように、健康な体をつくることにも気を付けたいです。早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な部分から守って過ごすことを意識したいです。もちろん登下校の自転車利用も交通ルールを守っていきたいです。

次に、自分以外の命も大切にするという意識をもつことです。例えば、命を傷つけない社会のルールを守ることや、人として守るべきルールを守ることです。これらを守ることで、命を危険にさらすことが減っていくと思います。特に私は自転車通学をしているので、交通ルールを守ることはもちろん、歩行者や自転車、車に気をつけて、まずは自分から事故の数を減らしていきたいです。

期限のある命だと考えた私は、これからも、私の命、周りの命を守って生活していきたいと思ひます。